



～福智の夜がさらに熱く～

真夏の祭典

I LOVE FUKUCHI フェスタ 2013

昭和51年から「夜市」として、平成3年からは「カナダフェスタ」として親しまれてきた夏を代表するイベント「LOVE FUKUCHI フェスタ」が、8月2日に開催されました。会場となった金田新町通りでは、約600mの街筋が1日限りの歩行者天国に。既存の店舗や露店が軒を連ね、約2千人の来場者で埋め尽くされました。

特設ステージでは〇×クイズに答えながら大縄の跳躍回数を競うメインイベント「大縄でQ」や「浴衣deナイト」が大盛況。1年ぶりの祭典を惜しむかのように歩行者天国となった商店街は終始にぎわいをみせました。



ベストドレッサー賞

ネイルサロン Happiness
仲山 扶妙 さん



↑「浴衣deナイト」出場者24人の中から、着こなしやしぐさなどが審査され、見事に今年のベストドレッサーに選ばれた仲山さん。

1 「浴衣deナイト」企業の部で優勝した原田眼科「目ん玉おまかせ隊」。2 跳躍数195回・クイズ正解数3問で大縄を制した金田ちびバド「は組」。3 4 5 会場に華を添えた、金田保育園園児と福智炎連太鼓による演奏やミキースファンクによるダンス。

町長日誌

職務上、会議や研修会・イベントなどで、あいさつをする人が多い。その場にあった話をするのは

もちろんだが、時には印象的な「文言」や「ことわざ」を引用することも必要になってくる。

▼幸い若い頃から、本を読んだり人と会話をしている場合でも、これはと思った事柄などに合ったら、必ずノートに書き記す習慣を心がけていたので、現在ではかなりの数に達している。はじめは、先になつて振り返つた際に、何かの役に立つのではないかとというくらい軽い気持ちでやつてきたのだが、今となっては手放すことができない貴重な財産なのである。▼中

でも、成人式や教職員研修会などで、たびたび引用している「ダランベールの間違い」というエピソードは、わたし自身への自戒を含めて、とても重宝している。15年ほど前に、ある週刊誌から抜き書きしていたもので、ダランベールという固有名詞を最初目にした時は、人なのか物なのか、あるいは事象なのかわからなかった。まず広辞苑で調べて記事を読み進んだので、まさしく懐かしく思い出される。広辞苑によれば、ダランベールは、18世紀フランスの代表的な数学者、物理学者、哲学者で、彼の理論や学説がそのまま当時の常識となつていたのは、容易に想像がつくのである。▼ここで、記事の middle に戻れば、その著名な数学者が、コイン2枚を同時に投げた場合の組み合わせを、3通りと考へていたとのこと。しかし、正解は4通りなのである。いかに18世紀の考へ方とは言え、大数学者が間違えるはずはないと思うのだが、そうではなかったらしい。常識も、視点を変えれば非常識になる。教訓としたい。

浦田 弘二